

# 2024年12月期 第2四半期決算説明資料

2024年8月9日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(証券コード6464 東証プライム市場)



# FY2024 上期決算開示のポイント

リニア事業のボールねじ及びボールウェイの製造及び販売事業を非継続事業に分類したことに伴う開示の変更点は以下のとおり（第1四半期開示の際と同様）

- 2024年12月期上期の業績は、非継続事業を除いた継続事業のみの数字を中心に開示
- セグメントは、「プレシジョン・コンポーネントビジネス」と「その他」に分類

# FY2024 上期の概要

## 売上

- 売上収益：円安が寄与し、前年上期を6.9%上回る
- 成長戦略：「セラミックボール」、「アジア地域での拡販」が伸び悩む一方で「メディカルデバイス」が順調に伸びる

## 利益

- 一時的な費用計上が無くなった一方、棚卸評価損を計上したことから、営業利益は22億円（17.9%増）で着地

## 配当

- 中間配当は15円/株
- 期末配当は20円/株の予定。年間配当額は、ガイダンス通り35円/株の予定

## その他

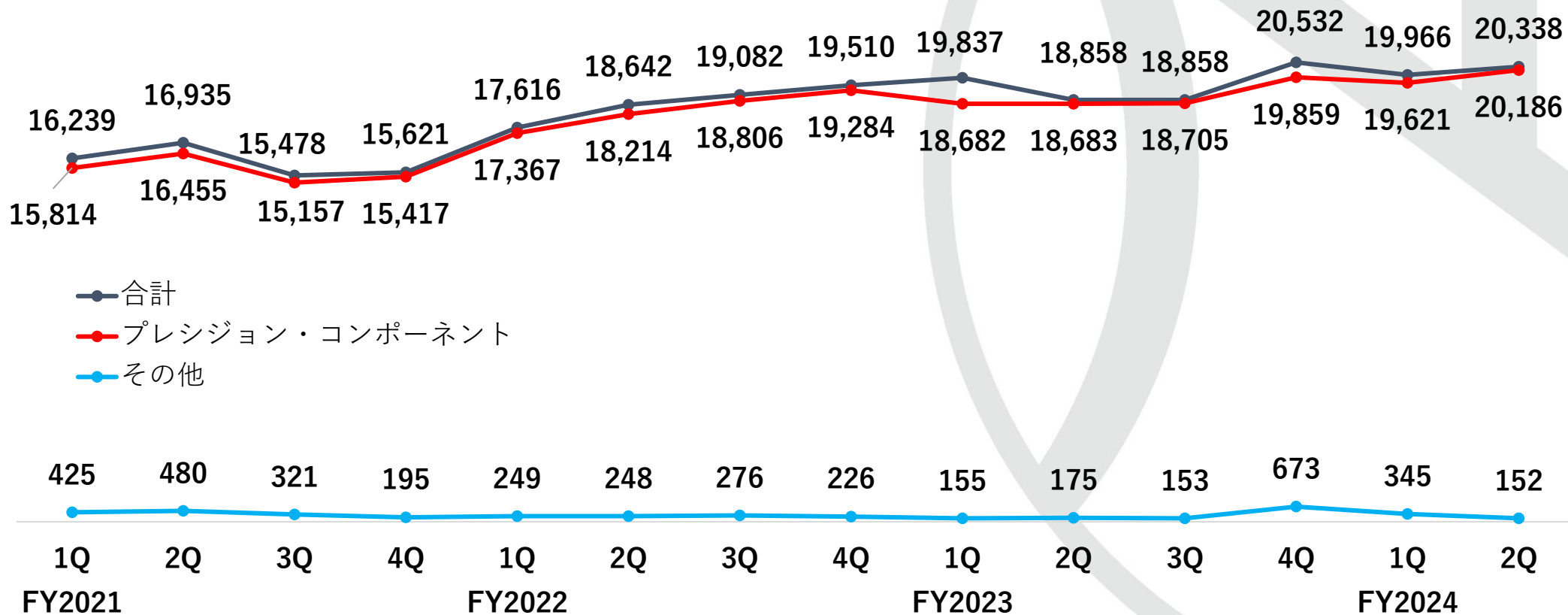
- 次期中期経営計画は、2025年～2027年の計画として来年2月の決算発表に合わせて発表予定

# 四半期 連結売上収益推移（継続事業のみ）

プレジジョン・コンポーネント売上収益：前年同期比8.0%増、前四半期比2.9%増

その他売上収益：前年同期比13.1%減、前四半期55.9%減

(百万円)



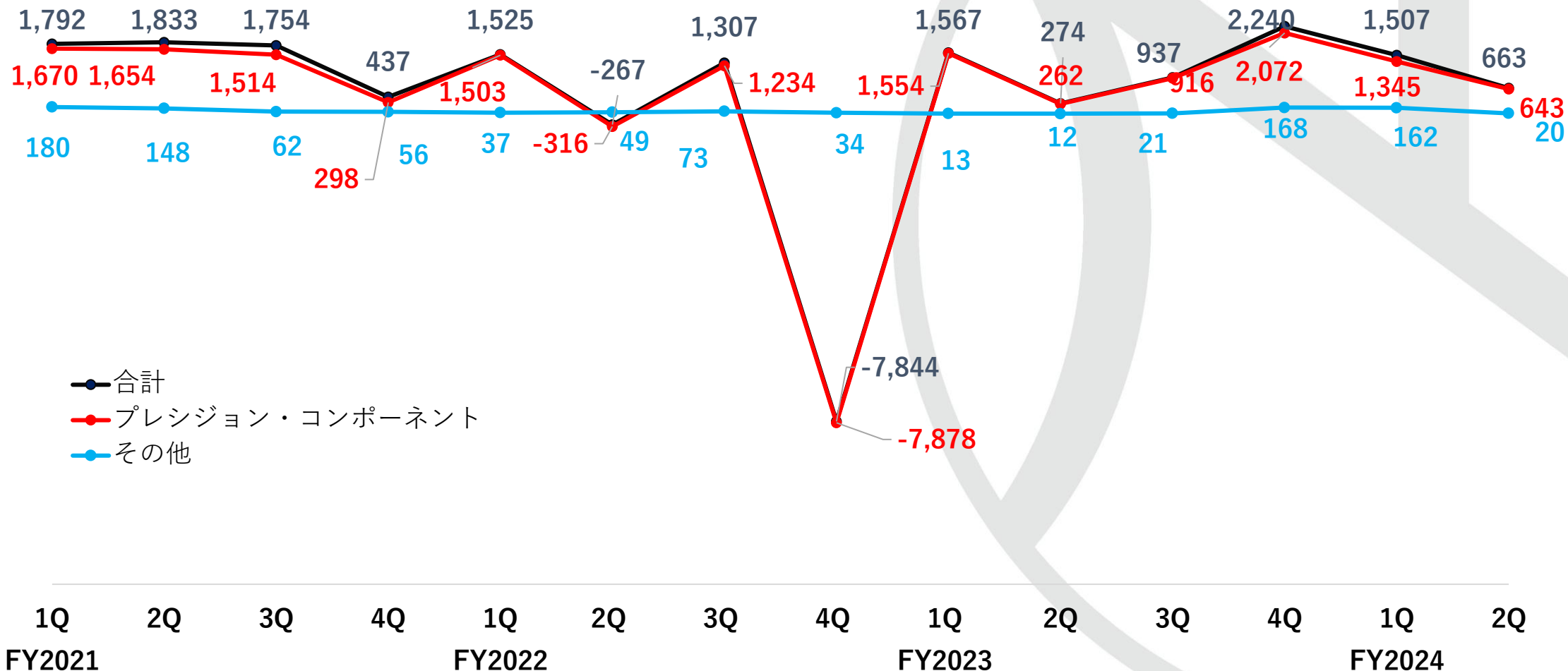
※ 2023年末までの上記数字は会計監査人の監査は受けておりません

# 四半期 連結営業利益推移（継続事業のみ）

プレジジョン・コンポーネント営業利益：前年同期比2.5倍、前四半期比52.2%減

その他営業利益：前年同期比66.7%増、前四半期比87.7%減

(百万円)



- 合計
- プレジジョン・コンポーネント
- その他



※ 2023年末までの上記数字は会計監査人の監査は受けておりません

# FY2024 上期連結業績（前年上期比）

為替影響を除いた売上収益は前年上期比3.3%減、営業利益は同9.1%増

(百万円)

	FY2023	FY2023	FY2024			
	上期	上期	上期			
	実績 (非継続事業を含む)	実績 (継続事業のみ)	実績 (継続事業のみ)	為替影響	増減額 <sup>※1</sup>	増減比 <sup>※1</sup>
売上収益	39,565	37,695	40,304	3,841	▲ 1,232	▲ 3.3%
営業利益	1,896	1,841	2,170	161	168	9.1%
対売上(%)	4.8%	4.9%	5.4%	—	—	—
EBITDA	3,444	3,275	3,826	161	390	11.9%
税引前利益	1,821	1,748	2,764	148	868	49.7%
当期利益	911	911	1,703	72	720	79.0%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

# FY2024 上期セグメント・地域別売上（前年上期比）

（百万円）

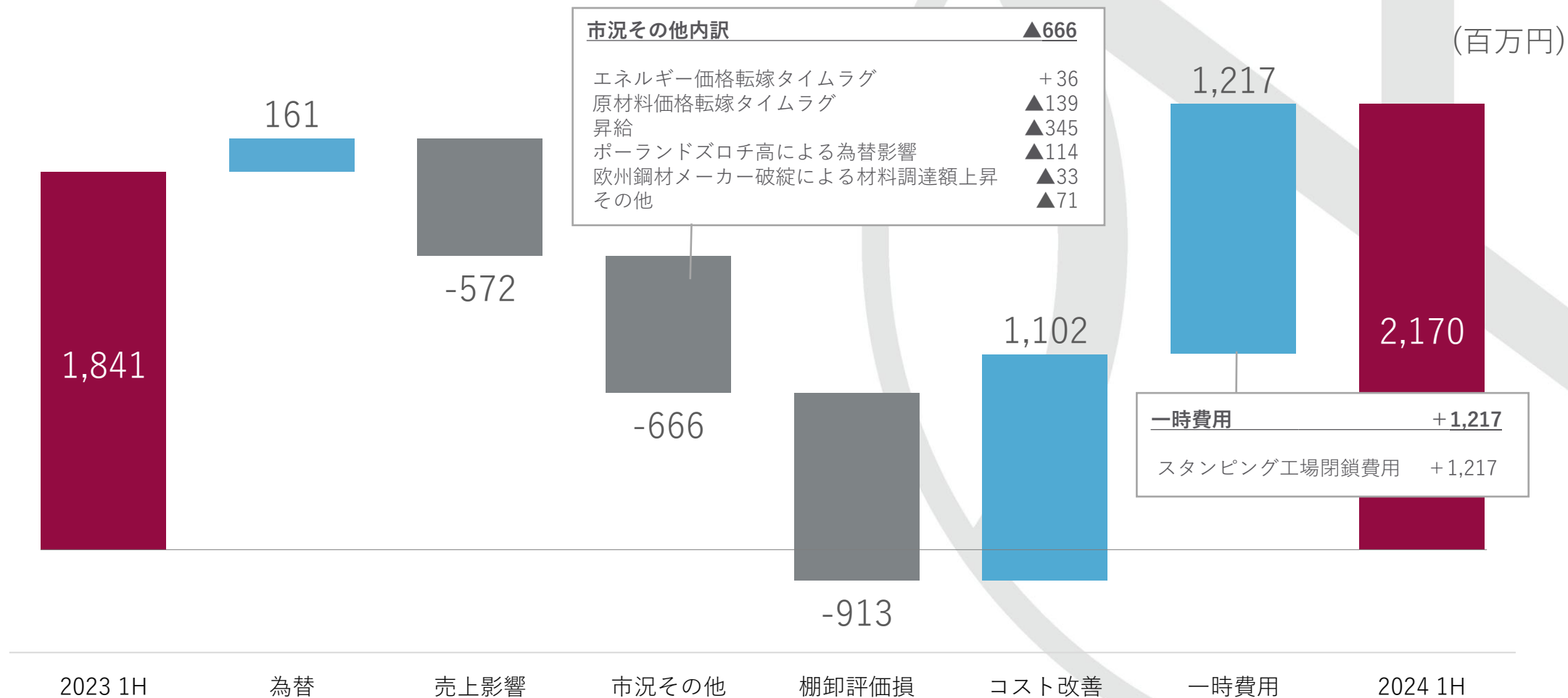
	FY2023	FY2023	FY2024			
	上期	上期	上期			
	実績 (非継続事業を含む)	実績 (継続事業のみ)	実績 (継続事業のみ)	為替影響	増減額 <sup>※1</sup>	増減比 <sup>※1</sup>
グループ連結	39,565	37,695	40,304	3,841	▲ 1,232	▲ 3.3%
プレシジョン・コンポーネント <sup>※2</sup>	37,365	37,365	39,807	3,841	▲ 1,399	▲ 3.7%
日本	7,151	7,151	5,944	0	▲ 1,207	▲ 16.9%
北米	7,602	7,602	8,013	950	▲ 539	▲ 7.1%
欧州	13,655	13,655	14,372	1,907	▲ 1,190	▲ 8.7%
中国	7,188	7,188	8,386	706	492	6.8%
アジア（除中国）	1,770	1,770	3,092	278	1,044	59.0%
その他	2,200	330	497	0	167	50.6%

※1 “増減額”及び“増減比”は為替影響を除く

※2 地域間の連結消去後

# FY2024 上期 営業利益増減要因

為替影響を除いた売上収益の減少と棚卸評価損を計上した一方、コスト改善と前期計上した工場閉鎖費用がなくなったため、営業利益は、前年上期比17.9%増の2,170百万円となりました





# BS / CFにおける業績

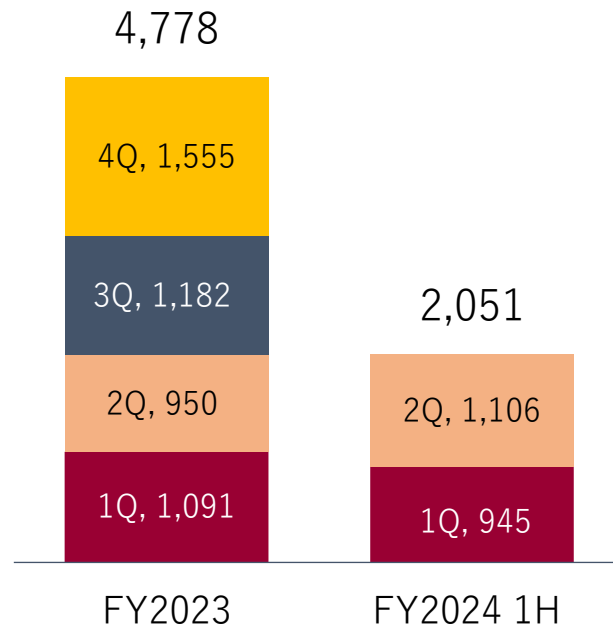
棚卸資産回転月数(月)

販売減による在庫増



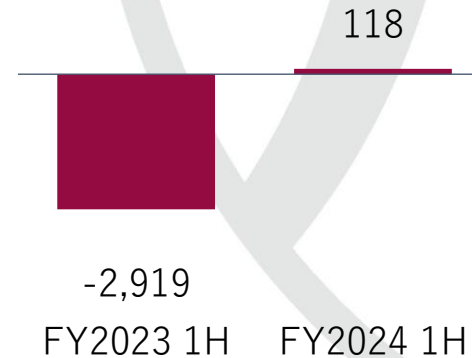
設備投資額(百万円)

計画通り推進



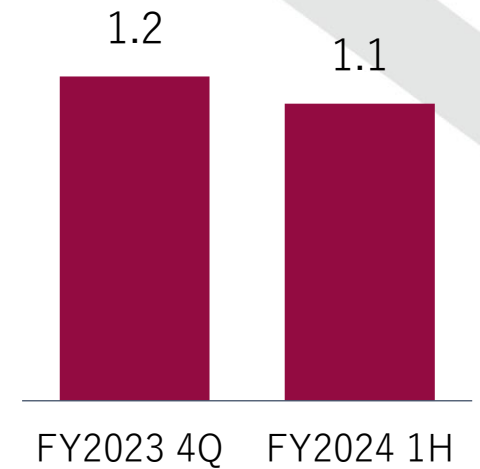
フリーキャッシュフロー  
(百万円)

- ・ 支払債務を主にした (+12億円) 運転資本改善
- ・ 利益増 (+6億円)
- ・ 構造改革費用 (+7億円) (2023年ローラー vs 2024年スタンピング)
- ・ その他 (+5億円)



ネットDEレシオ  
(%)

有利子負債減による改善



# 成長戦略の進捗 (FY2024 上期)

「セラミックボール」、「アジア地域での拡販」が足踏みの一方で、「医療デバイス」が大きく伸びる

(百万円)

## セラミックボール

## 医療デバイス

## アジア地域での拡販

(除く中国、セラミック)

YoY ▲81  
▲3.2%

QoQ ▲40  
▲1.6%

YoY +353  
+149.6%

QoQ +74  
+14.4%

YoY +41  
+4.1%

QoQ ▲10  
▲0.9%

9,866

1,657

4,098

4Q, 2,555

4Q, 593

4Q, 1,066

3Q, 2,355

3Q, 397

3Q, 1,041

4,960

2Q, 2,460

2Q, 236

1,104

2Q, 1,003

2Q, 2,541

1Q, 431

1Q, 515

1Q, 988

1Q, 2,415

1Q, 2,500

2,098

2Q, 1,044

FY2023

FY2024

FY2023

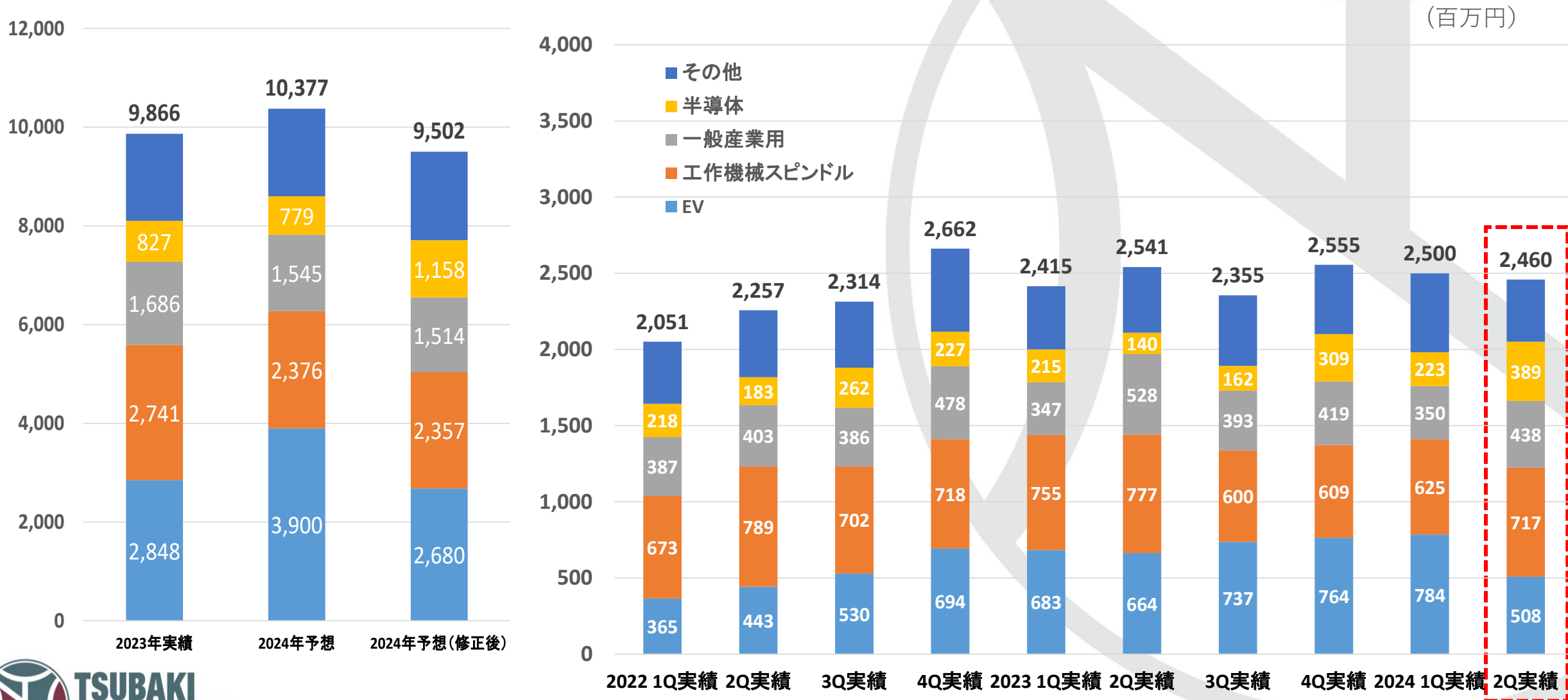
FY2024

FY2023

FY2024

# セラミックボールの用途別売上高推移及び予想

年間売上高予想は、EV向けを中心に伸びが予想を下回り、下方修正



# サステナビリティへの取り組み

## 持続可能な開発戦略

- ✓ エネルギー消費の削減
- ✓ 太陽光発電システム
- ✓ 再生可能エネルギー証書を活用したグリーン・エネルギーの購入
- ✓ 挑戦：高稼働率によるTNプラントの全般的な効率の向上
- ✓ TNプラントの電化



- 2030年までに2022年比▲42%
- 2050年までのカーボンニュートラル達成を目指す

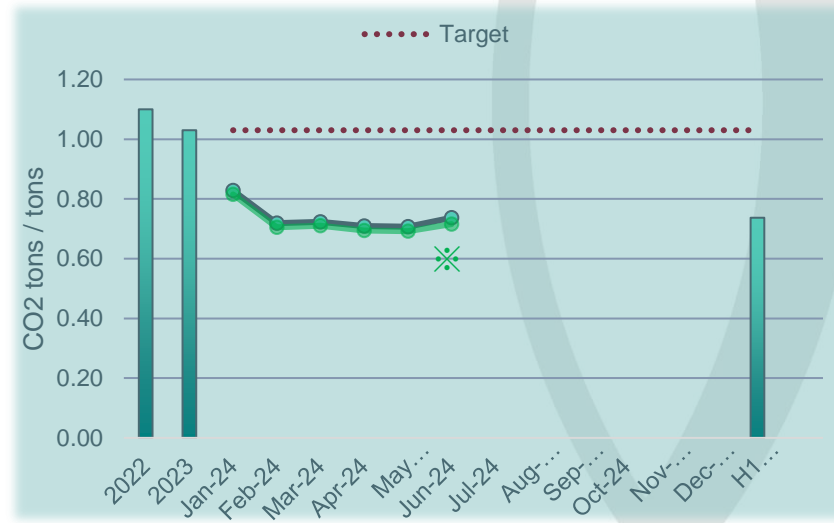
## カーボンフットプリント

CO <sub>2</sub> tons / tons	2023	H1 24 (Q1 + Q2)	% 24 vs 23
JAPAN	1,10	0,87 0,68*	-27% -62%*
EUROPE	1,04	0,77	-34%
CERAMIC	19,3	11,8	-64%
CHINA	0,99	0,64	-55%
AMERICAS	0,81	0,70	-15%
MEDICAL	1,52	1,56	+3%
TSUBAKI NAKASHIMA	1,03	0,74 0,72*	-40% -43%*

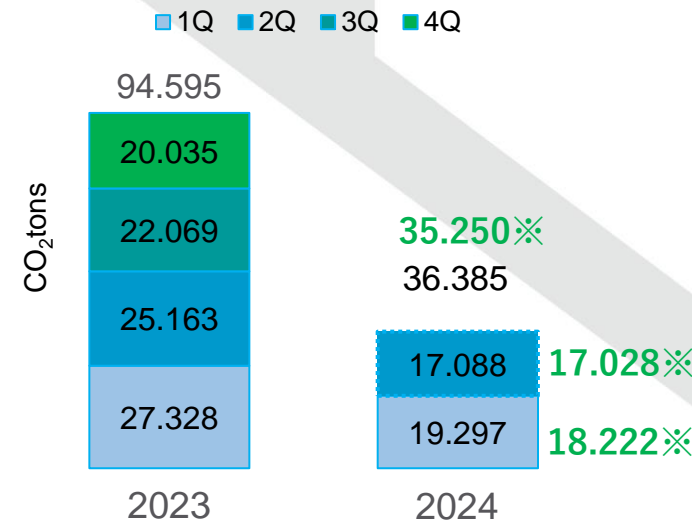
※ 継続事業のみの数字 (緑字)

109.610	94.595	98.100	92.346	86.591	80.837	75.082	69.328	63.573
CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons	CO <sub>2</sub> tons

## 月次動向



## CO<sub>2</sub>総排出量



当社は**CDP気候変動** (2023年: B-スコア)に参加し、その実績を毎年モニタリングしており、**SBTi**で目標を検証しています。このようにして、当社はサステナビリティ関連のコミュニケーションにおける透明性と信頼性を実証します。

\* このページの各数値は「市場ベースの手法」に基づいています。



# 松山新CEO | 就任1.5カ月の見立て

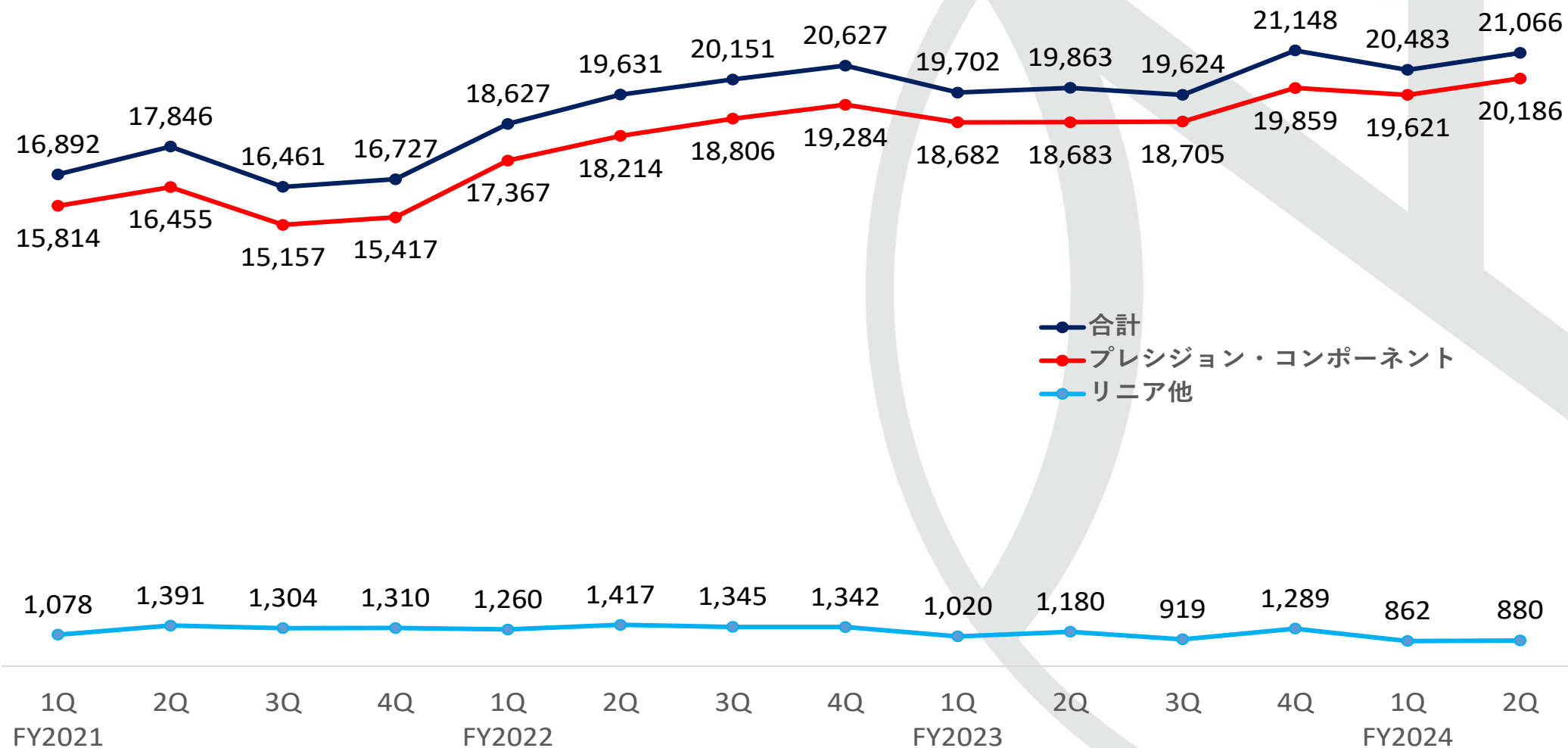
## 次期中計に向けた課題と今後の取組

- 新中期経営計画に向けた経営陣の強化/入れ替え
- 組織及び経営プロセスの刷新
  - 組織構造の最適化と組織内のコミュニケーション促進
  - グローバル経営プロセス、経営の見える化/数値化の強化
  - 生産・購買・営業・HR等、グローバルでの統制強化/最適化
  - インセンティブの構造や成果主義文化の見直し
- スチールボール、ローラー、その他事業での成長と高収益化
  - 価格戦略を含めた長期的なビジョン/戦略の見直し
  - 購買コストや生産ネットワークの最適化によるコスト削減
  - オペレーションの改善による生産性向上
  - 在庫最適化等、バランスシートに関する戦略の見直し

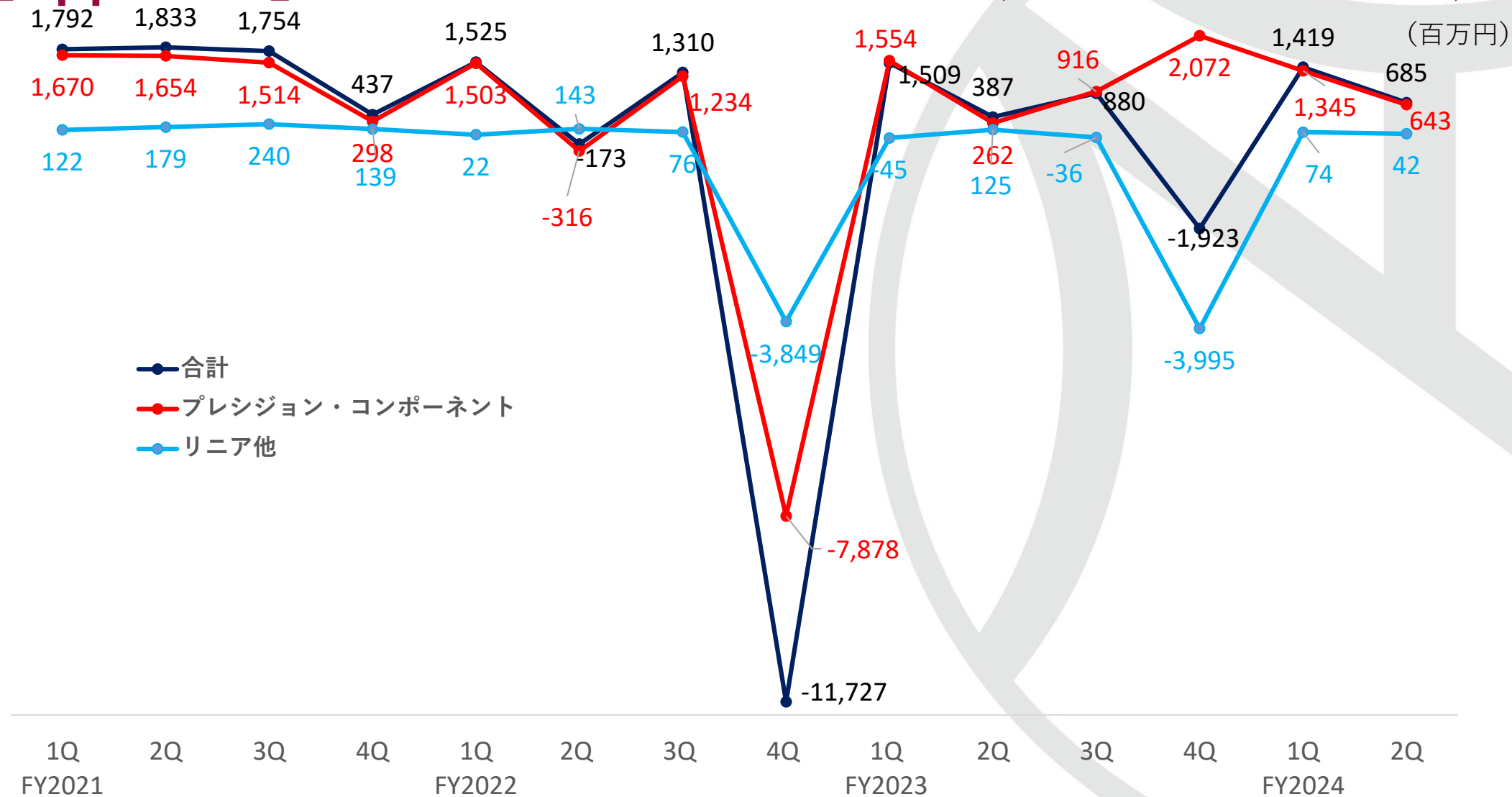
2025年2月の  
本決算発表時に  
新中計として開示予定

# 【Appendix】 四半期 連結売上収益推移（非継続事業を含む）

(百万円)



# 【Appendix】 四半期 連結営業利益推移（非継続事業を含む）





# 免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載（推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます）が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。